

2014年4月 日

## 掲載論文の取消・削除と本号の再編纂について（お詫びとお知らせ）

（案）

富山国際大学  
富山国際大学図書館委員会

富山国際大学地域学部紀要創刊号（2001年3月9日発行）に掲載された本多宗高元教授（2004年3月退職）の論文「資源・環境・リサイクルー循環型社会をめざしてー」（123頁～165頁）の中に、他の著書からの盗用があることが判明しました。

2014年3月17日付けで資源循環研究所村田徳治氏から富山国際大学学長宛に封書で、本多元教授の当該論文の130頁～146頁にわたって、村田氏の著書「最新リサイクル技術の実際」（オーム社1993年7月30日発行）から転載されている旨、通報がありました。

直ちに富山国際学園の「研究活動における不正防止に関する規程」に基づき調査委員会を立ち上げ、事実関係の調査が行われた結果、村田氏のご指摘のように、当該論文のうち130頁～146頁のほとんどの部分が村田氏の著書から、文献引用もなく盗用されていることが確認され、本多元教授も盗用を認めました。

論文や著書の盗用は大学の教育・研究者としてあるまじき行為であり、本学教員によるこうした不正行為によって、村田徳治氏ならびにオーム社に対して多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、陳謝申し上げます。

これに伴い、本多元教授の当該論文を取消し、ウェブ上で開示されている地域学部紀要創刊号から削除することとしました。そのため、123頁から165頁を欠頁として当該論文を除いた同号の再編纂を行い、この再編纂版を新たにウェブ上で公開します。当該論文を掲載した同号の初版をお持ちの方は破棄していただくようお願いいたします。なお、本大学の紀要は現在、ウェブ上での公開のみとなっており、冊子による再発行は行いませんので、ご了承ください。

不正を行った本多元教授の処遇については、既に本人が退職しているとの制約がありますが、学園の方針に照らして厳正に対処します。

研究者の倫理に反するこのような不正の事実気付くことなく、紀要を公開し続けたことを深くお詫び申し上げます。今後は、教員の倫理規範遵守へ向けた啓発活動を行うとともに、紀要の執筆・投稿要領や編集要領を見直すなど、このような研究不正の再発防止に向けた必要な措置を講じてまいります。